

Smiles for All



TO THE NEXT 次のステージへ



2024年 回復期OPEN!



IMS(イムス)グループ 医療法人財団 明理会

鶴川サナトリウム病院

リハビリテーション科

Smiles for all

ぼくらが大きな力になろう

当院は、これまで維持期・難病・精神科・認知症のリハビリテーションを専門に行ってまいりましたが、2024年度は回復期病棟および一般病棟を新たに開設いたします。患者さまにふさわしい場所で、適切なサービスが提供される循環型の仕組みの構築で、より広い視野を持ち、多様な患者さまのニーズに応えることが可能となりました。

私たちは、これまで以上に熱意を持って患者様一人ひとりの回復を支援し、多職種で質の高いリハビリテーション・医療を提供していきます。

また、当院は東京都指定認知症疾患医療センターであり、認知症の患者さまと関わる機会が非常に多くあります。現代において、「認知症」との関わりが避けて通れない中、認知症についての専門性を磨き、必要とされるセラピストに成長したいと考える方には最適な環境です。

当院のリハビリテーション科には、「少しでも良くなってほしい」「笑顔になってほしい」と日々あきらめずに全力で向き合う明るいスタッフが多く在籍しています。

患者さまの「最高の笑顔」を引き出し、患者さまからもセラピストからも選ばれる病院をともに目指していきましょう。

リハビリテーション科 技士長 三富 佑哉



リハ科理念と
病院概要について



病院概要 / 施設基準

開 設 昭和 48 年 12 月 13 日

理事長 中村 哲也

院 長 林 重光

病床数 587 床

診療科目 内科 / 老年内科、精神科 / 老年精神科
リハビリテーション科

認知症治療病棟 116 床

認知症身体合併症治療病棟 148 床

医療療養病棟 139 床

障害者施設等病棟 81 床

一般病棟 43 床

回復期リハビリテーション病棟 60 床

疾患別リハビリテーション

(脳血管 I、廃用 I、運動器 I、呼吸器 I)

認知症患者リハビリテーション

精神科作業療法

居宅介護支援施設

通所・訪問リハビリテーション

精神科 ショートケア

保育所

その人らしく生きるを支える
鶴川サナトリウム病院
について



高齢者医療のプロフェッショナルとして

高齢者医療で50年の実績

病床数587床、職員数520名の町田市では最大規模の病院です。地域の高齢者医療の中心的な役割を担っています。

認知症疾患医療センター

もの忘れ外来の設置、認知症の鑑別診断、専門医療相談、各医療機関との連携など、認知症の方を地域で支えるための支援を行なっています。

病院機能評価 認定病院

院内、地域のニーズに応じた通所リハビリテーションの提供とMCIデイケア開設が高く評価され、リハビリ部門が「S評価」となりました。

自然と都市の程よい距離感

周辺環境について

▶▶ まちだ はこんな まちだ ◀◀



東京都から半島状に飛び出していて、神奈川県にぐると囲まれているのが町田市です。市内には大学や専門学校なども多いため、町田駅周辺はとても栄えています。当院がある小田急線「鶴川駅」は電車なら都心から 30 分程度でアクセス可能でありながら、町田市の中でも歴史や自然を感じられる町です



「まちだグランベリーパーク」

約22ヘクタールの敷地にファッションや雑貨など計241店舗のほか、ピクニックやスポーツなどが楽しめる公園もあります

総勢80名 / リハ科について



理学療法士

37人

言語聴覚士

6人

作業療法士

37人

リハ助手・事務

5名

令和6年4月現在

年齢分布

平均年齢

31.4 歳

一見高いようにも見えますが
1番多い年齢層は20代です。

経験年数

脂が乗ってきています

7.5年

他病院からの異動者も多く
経験値もある世代が多い環境です。

残業時間

月平均

4.7 時間

感じ方はそれぞれだとは思いますが、
比較的少ない方だと思います。

男女比率

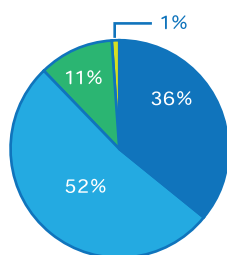
男性 女性

3:5

男性30名、女性50名で構成
されています。最近では男性が
増加傾向です。

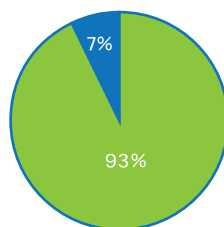
対象疾患

疾患別リハ / PT・OT・ST



脳血管 廃用 運動器 呼吸器

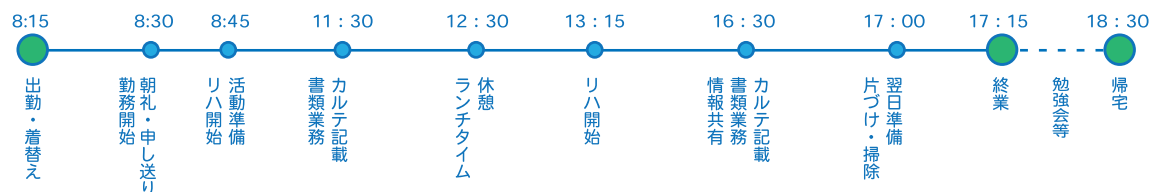
精神科 OT



認知症 一般精神

認知症	アルツハイマー型	50%
	脳血管性	14%
	レビー小体型	8%
	前頭側頭型	4%
	その他	24%
一般精神	統合失調症	40%
	うつ	17%
	妄想性障害	17%
	双極性障害	10%
	その他	16%

1日の流れ



アップデートは必要だよ

教育体制について



セラピストは「資格を取得すれば終わり」ではありません。医学的な知見は日々進歩し、リハビリを効率よく進めるためには、新たな知見に触れ自身の知識を更新し続けることが必要です。当院では、あなたが（すべきこと）・（できること）・（したいこと）を、先輩と一緒に考え、学び、なりたい自分に向かって行動する人を全力でバックアップします。

新人教育

- プリセプター制度(1年間)
- PT/OT/ST 合同勉強会1/月
- 起居、基本動作トランスファー
- ポジショニング、シーティング
- ユマニチュード、バリデーション
- 嚥下 等
- ・精神科OT:集団リハビリのリーダー育成(OSCEなど)
- ・症例報告(3回/年) 指導者がサポートします!



精神科医師勉強会



新人勉強会



外部事業者による体験会



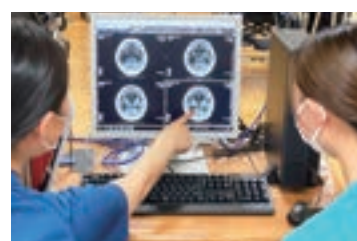
OSCE

スタッフ教育

- リハ科内勉強会(部門、班)
- 症例検討・報告会
- 精神科医師、外部の神経内科Drによる勉強会
- リスク管理関連、吸引実技研修
役職者研修等

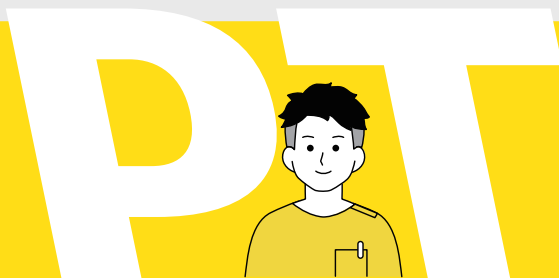


イムスグループリハビリ部門 臨床支援
(月1日)



新人教育風景

維持期のPT は、自然回復が見込めないからこそ、ある意味では急性期以上に知識や技術が大切です。長期的に同じ患者様を担当できる強みを活かし、じっくりと試行錯誤しながら、その方に合った治療や訓練方法を探し出していきましょう。



Mission



- ① 身体機能を改善する ② 向上心を持つ ③ 精神科PTの存在意義を証明する



2019年度卒

**精神科PTの
存在価値を上げる**

実習中にダメになりかけた僕を励まし、精神面を祖母というセラピストによって支えてもらった経験から、「心の病気を発症した方の力になりたい」と考え、精神科PTとして当院へ入職しました。精神科のPTはまだまだ未開拓なことが多いですが、これからも学会発表等を行い、精神科に理学療法士が携わる意義を伝えられるようなセラピストになりたいと考えています。



2015年度卒

**出産後も
安心して働く**

ライフイベントによって生じる「仕事と家庭の両立」は大きな課題ですが、急性期に比べ、業務の流れがゆっくりなことや、残業が少ないこと、また、同じような状況の仲間が多く在籍しているので、安心して妊娠・出産・復帰をすることができる職場環境です。

よくある質問

1人あたり担当患者数は何人ですか？

約15名を担当しています。患者さまによって、毎日リハビリを行う方と週3回の方がいっぱいます。

維持期でもセラピストとして成長できる？

もちろんできます！

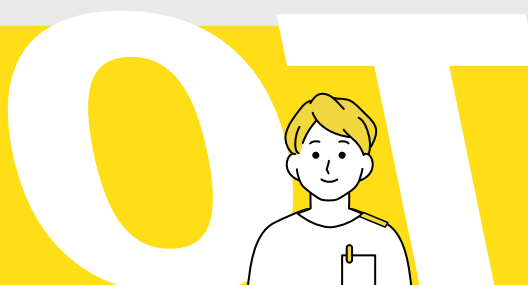
維持期は自然回復がないため、結果を出すことが非常に難しいとも言われています。

だからこそ、当院の向上心を持った先輩セラピストと一緒に、学び、成長し、患者さまに還元していきましょう。

学会などへの発表は積極的ですか？

IMSグループ内学会および外部学会にて、例年5～6演題が発表しています。症例をまとめることはとても大切な作業です。発表の際は先輩がフォローも行っているため、若手のうちから積極的な参加を推奨しています。精神科の学会では、PTの発表が少ないのが現状ですが私たちは学会を通して、精神科PTの存在意義を証明していきたいと思っています。

維持期のOT は、創造力を働かせ、患者さまの世界観を引き出しながら、リハビリのアイデアを考えます。長期入院の方が多くからこそ、人生に希望を見いだすきっかけづくりや、目標を再構築する手助け、人生を彩るための「演出」が必要なのです。



Mission



① 精神・身障スキルの獲得 ② 認知症のエキスパート ③ 新規事業への挑戦



2021年度卒

患者さまの自分らしさを引き出す

患者さまの趣味活動や生活動作の支援を行なう中で、患者さまが語られる背景や物語を大切にしています。長期で過ごすからこそ、病院という生活の場を楽しみを持って過ごしていただけるよう、患者さまご本人やご家族の希望に沿ったリハビリを提供していきたいと考えています。



2018年度卒

本人だけでなく家族にも寄り添う

急性期や回復期と比べ、長期間患者さまと関わることで、高齢者に多い、さまざまな疾患の勉強ができます。同時に認知症などで入院される患者さまは、本人だけでなく、家族も大変な思いをされている場合もあります。家族への支援方法も考えながら、1人でも多くの患者さまが自宅へと戻られるよう努力していきたいと考えています。

よくある質問

身障・精神の配属は希望制ですか？

基本的には本人の希望をもとに配属を決定しています。配属期間は年単位でも、1年など短期間でもOK。チーム状況をみながら可能な限り希望に沿ってローテーションをしています。身障・精神どちらのスタッフも在籍しているので、互いに相談したり、技術や評価を学べるのが大きなポイントです。

精神科作業療法のプログラムは何を行なっていますか？

体操・音楽・茶話会・回想法・化粧療法・書道・生け花・囲碁・将棋・麻雀・調理・笑いヨガ・園芸・手作業・といったプログラムを実施しています。活動時間は毎日1回2時間、対象者数は10～40名程度です。1人1人の目的やニーズに合わせた認知症リハビリテーション(個別リハ)は週3回/人、20分/回で実施しています。

勉強会はいっ行っていますか？

リハ科の勉強会は、原則、17:15以降(終業後)となります。対象者に合わせ、評価法から介入方法の伝達、理論など、身障・精神部門問わず幅広く実施しています。強制参加ではなく、自己研鑽としての参加となりますので、都合が合わない場合は不参加でも問題ありません。

維持期のST といっても、「維持することが目標」とは思っていない。患者さまの生活をより良くするために、積極的なリハビリはもちろん、嚥下外来、訪問リハ、認知症外来、通所STなどの展開も視野に入れ、地域ナンバーワンのSTチームになる予定です！



Mission



① 笑顔を引き出す ② 生活期の業務を網羅する ③ 誠実に対応する



2017年卒

維持期でも 変わる・良くなる

以前は急性期の病院に勤務していましたが、入院機関が短いため、見届けられなかった歯がゆさがありました。今は患者さまとじっくり関わりながら、諦めずにリハビリを続けることで、維持期でも患者さまが変化することを経験し、とてもやりがいを感じています。



2020年度卒

難しいからこそ 喜びも大きい

経口摂取困難な患者さまを担当し、経口摂取が可能になったケースを経験しました。当院にはさまざまな疾患を合併している方が多く、苦戦することばかりですが、先輩に相談しながら、さまざまなアプローチを考えます。難しい分、患者さまの変化を目の当たりにした時の喜びや、達成感はとても大きいです。

よくある質問

どのような人が向いている環境ですか？

患者さま1人ひとりと、じっくりと関係を築きたい方が向いています。

新人が1人で患者を受け持つまでの期間はどのくらいですか？

入職後1ヶ月は主に見学をして頂き、その後は1名の患者さまの担当から始めます。7月ごろには10名程度を担当できるように徐々に担当患者さまを増やしていきます。

主にどのような患者を担当しますか？

60歳以上の高齢者が多く、認知症や脳血管障害、嚥下障害の患者さまが中心です。また、当院には障害者病棟があり、パーキンソン病やALS等、神経難病の患者さまを経験することもできます。

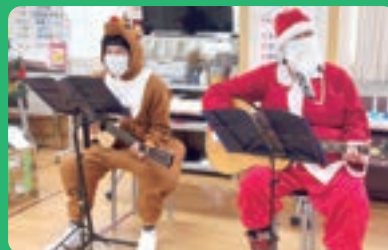
スタッフの経験年数は？

さまざまな医療機関で10年以上の経験を持つスタッフが3名在籍しているので、幅広い知識を得ることができます。また、部門内では、症例報告含め、技術向上可能な内容です。頻度は不定期ではありますが、必要に応じて実施しています。

SENPAI

リハビリテーションを行うことの大きな目的は、「その人らしい生活」をふたたび送ることにあります。通所、訪問、地域での出張講座等へどんどん飛び出し、「その人らしい社会参加」をリハビリテーションで支援しています。訪問や通所の担当になるには、おおよそ3年以上の経験と地域の特色に関心があり、利用者さまのニーズに寄り添うことができれば担当になることができます。

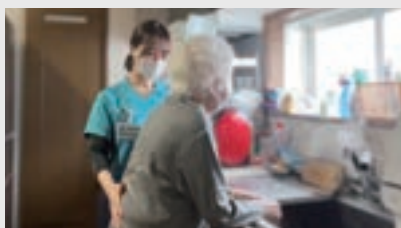
訪問通所リハ 精神科ショート



町田市委託事業

IADL教室

作業療法士が健常者～要支援2の方に向けて、身体機能やIADL、認知機能等の評価を行います。



町田市委託事業

町トレ

(町田を元気にするトレーニング)

地域で活動する自主グループに対し、介護予防のための町田市オリジナルトレーニングを、理学療法士と作業療法士が講師として実施します。



外部事業

住宅改修アドバイザー

住宅改修をご希望の個人宅へお伺いし、手すりや段差設置等のアドバイスをを行います。



NEW

MCI トレーニングスタジオ

ASMO (あすも)

軽度認知障害 (MCI) と診断された方々がその改善・維持を目的に2022年に開設されたMCIトレーニングスタジオ。MCIの方を対象にした施設は全国でも非常に少ないため、メディアから取材を受けるなど、注目度の高い取り組みです。当院では作業療法士が運営の中心となり、プログラム、評価を担当しています。



職員寮について

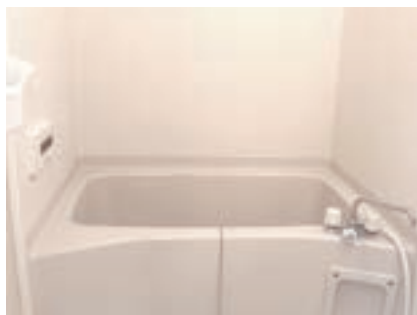
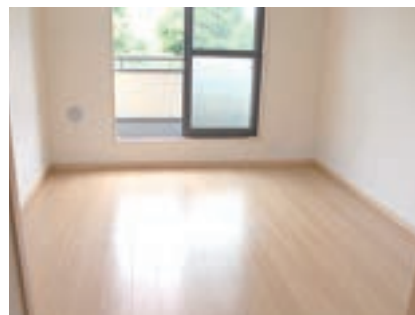
病院近隣のワンルームタイプの物件を中心に病院側がご用意をしています。一般のマンションやアパートなどを病院で借りているので、安心して生活できる環境です。

寮 費

約3万円

間取り

1K(1ルームタイプ) 全室個室・エアコン完備・キッチン・バストイレ別



※職員寮はさまざまな種類があるため、上記写真の寮ではない場合がございます

卒業校一覧

北海道リハビリテーション大学校/北海道科学大学/岩手リハビリテーション専門学校/仙台リハビリテーション専門学校/仙台医健・スポーツ専門学校/仙台医健・スポーツ&こども専門学校/仙台青葉学院短期大学/高崎健康福祉大学/群馬医療福祉大学/太田医療技術専門学校/了徳寺大学/東京家政大学/目白大学/東京工科大学/日本工学院専門学校/首都大学東京/東京医療学院大学/専門学校 東京医療学院/首都医校/関東リハビリテーション専門学校/多摩リハビリテーション学院専門学校/東京福祉専門学校/東京YMCA医療福祉専門学校/東京医薬専門学校/杏林大学/日本リハビリテーション専門学校/帝京平成大学(池袋キャンパス)/帝京平成大学(千葉キャンパス)/八千代リハビリテーション学院/北里大学/神奈川県立保健福祉大学/横浜YMCA学院専門学校/茅ヶ崎リハビリテーション専門学校/横浜リハビリテーション専門学校/帝京科学大学(東京西キャンパス)/新潟医療福祉大学/晴陵リハビリテーション学院/金沢リハビリテーションアカデミー/関西学研医療福祉学院/福岡医健・スポーツ専門学校/福岡和白リハビリテーション専門学校/熊本保健科学大学/琉球リハビリテーション学院/沖縄統合医療学院



IMS(イムス)グループ 医療法人財団 明理会

鶴川サナトリウム病院

〒195-0051 東京都町田市真光寺町 197

TEL 042-735-2222 FAX 042-737-2264

小田急線 鶴川駅

京王線 若葉台駅

小田急多摩線 黒川駅 各駅より無料送迎バス 約10分



病院インスタ



リハ科インスタ



リハ科紹介動画

見学・お問合せ

042-735-2222 (総務課人事担当) turusana-saiyou@ims.gr.jp

